

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	令和8年1月7日		～	令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数)	3人
○従業者評価実施期間	令和8年1月7日		～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月7日		～	令和8年1月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数)	3人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月7日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士、作業療法士、療育相談員(心理士)などの専門職が保育所等訪問支援に携わり、それぞれの専門性を活かしてお子さんの支援をおこなっています。	こども発達センター在籍のお子さんを対象にしており、個別相談、園連携等の様々な支援を提案・実施したうえで、さらに高い頻度で支援が必要と判断された場合に保育所等訪問支援を提供しています。保育所等訪問支援開始に当たっては、保護者のニーズを踏まえ、個別担当者からのお子さんのタイプの聞き取りを実施して訪問支援員を決定しています。また多角的・客観的にお子さんの発達状況を捉えて、支援計画を作成し、専門性の高い支援を提供しています。	職員一人一人の資質の向上が必要となる為、外部研修や個別担当者との事例検討等、年間を通して研修の機会を設定していきます。
2	訪問支援員は支援に対して広い知識と技術を持ち、学校の担任や支援員への助言・説明は具体的で分かりやすく、学校教育現場に取り入れやすくなるよう心掛けて伝えています。若手の訪問支援員についても、個別担当職員と支援の検討を行いながらお子さんに効果的な支援の方法を探り現場の先生方に提案しています。	保育所等訪問支援だけでなく、当センターは日頃から、様々な事業を通して訪問先施設との連携と協働を大切にしております。その交流を通し、訪問先施設の文化を理解し、先生方の実践を知ること、保育所等訪問支援でお子さんの所属施設に受け入れていただける助言や説明をすることを心掛けています。また、当センターとの日頃の連携が、先生方の安心にもつながっていると思われます。	保育所等訪問支援だけでなく、個別相談や小集団指導のカンファレンス訪問、地域機関支援、研修会の開催などを通し、多くの職員が訪問先施設の文化やニーズを理解する機会を設けます。また、他事業所の保育所等訪問との情報交換や事例検討などの場も設定いたします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の利用定員が少ないことが課題です。	児童発達支援センターの機能を有しているため、法定事業や発達支援の裾野を広げる役割のほか、市単独事業など複数の事業を展開しています。そのため業務量が多く、職員は複数事業を兼務している状況にあり、保育所等訪問支援に充てる人材が恒常的に不足しています。	民間の児童発達支援事業所や保育所等訪問支援事業所と連携するとともに、こども発達センターの専門性に特化した事業を展開するなど、役割分担や業務の整理等の効率的運営を検討します。
2	訪問先の先生から「参観が保護者からの要望なのか、月1回という決まりなのかよくわからず、頻りに参観をされる為、何を目的としているのかわからなかった」とご意見がありました。	保育所等訪問支援の開始時に、担任や管理職の先生方に訪問支援の法的根拠や内容、目的、支援形態・頻度などの説明を行っています。今回は、年度途中で担任の交代がありました。そこで改めて年度当初の説明を実施せずに支援を継続してしまいました。このため、担任には事業の目的や内容が伝わっておらず、困惑させてしまったと考えます。	今後については、訪問支援開始前の1回の説明だけではなく、年度の中間時期に関わる先生の変更や増員があった場合は、再度、管理者を含めた説明の機会を設けます。また、その時点での課題やニーズを再確認し、支援の必要性も含めた方向性について共通理解を図っていく取り組みを行っていきます。
3	訪問先の先生から「参観後の話し合いに1時間以上かかるのが難しい」とご意見がありました。	参観後の情報共有に関しては、より日常の情報を多く収集させていただき、より必要な支援の見極め、手立て等を検討するために必須であったと考えます。しかし、頻度や時間の管理、担任の業務量に配慮を欠いてしまったことが要因であると考えます。	今後は、情報共有の目的や内容を明確に伝達した上で、情報共有が可能な頻度や時間等を確認していきます。その上で、時間の管理を徹底し面談時間の短縮に努め、効率的な情報共有を図っていきたく考えます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	浦安市こども発達センター
------	--------------

公表日 年 月 日

利用児童数 3名 令和8年4月15日 回収数 3名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3				意見なし	面談はセンター内の会議室や療育室を使用しています。引き続きプライバシーに留意しながら、話しやすい環境づくりに努めます。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3				意見なし	引き続き、具体的で分かりやすい説明を心がけます。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3				意見なし	・支援計画を基に、訪問先施設と訪問支援の頻度や日時を調整しています。 ・保護者様には、事前に決定した訪問日時を連絡しております。 ・体調不良等で欠席する場合は、引き続き、事前に当センターにもご連絡いただくなど、ご協力をお願いいたします。
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3				意見なし	お子さんの状態に合わせて、訪問支援員を決定するよう配慮しています。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3				意見なし	今後も専門性の高い支援が行えるよう努めます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3				意見なし	保育所等訪問支援計画は、お子さんや保護者のニーズを基に、訪問支援員による集団場面の評価だけではなく、個別相談職員の評価も参考にしながら作成しています。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3				意見なし	支援計画の作成は、訪問先施設のご意見も取り入れて作成しています。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3				意見なし	「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえて、具体的な支援内容を設定しています。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				意見なし	計画を基に支援しています。半年に一回を目途に、保護者様や訪問先施設と計画の見直しを行っています。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3				意見なし	引き続き、訪問施設の理念や指導に配慮した支援を心掛けます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3				意見なし	今後も、運営規程や利用者負担等について丁寧に説明するよう努めます。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3				意見なし	面談で「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行っています。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3				意見なし	・当センターでは、ペアレントトレーニングや保護者向けの研修会を開催しています。ご案内のチラシが館内掲示のみの場合、来館頻度が少ない方に、開催の情報が届かない可能性があります。 ・今後は市ホームページの活用など、情報の周知方法を検討いたします。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	3				意見なし	・面談にて、お子さんの現状や課題を共通に理解できるよう努めています。 ・保護者様のニーズに合わせて、職員の専門性を高め、優先順位を整理したお子様の実態や課題を端的に伝えられるように努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3				意見なし	月に1回程度、保護者様との面談を設定し、必要なアドバイス等が行えるよう継続して努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				意見なし	今後も保護者様の心情に寄り添った支援が行えるように職員のコミュニケーションスキルや面接スキルの向上を目指します。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3				意見なし	保護者様からお困りごとなどは面談時に伺っていますが、緊急時は電話等で伺うことが出来ます。その際には発達センターにご連絡下さい。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				意見なし	必要に応じ、絵や文字・資料等視覚的な手掛かりも使い、分かりやすく情報伝達出来るよう努めます。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3				意見なし	訪問支援員は訪問先施設からの相談に積極的に応じ、訪問先施設のお子さんの理解と対応が深まるような助言・支援ができるように引き続き専門性の向上を図ります。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3				意見なし	訪問先施設と話し合った内容は、保護者面談時に報告しております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3				意見なし	保護者様は、支援場面を直接ご覧になれないことが多いため、面談時には、支援方法やお子さんの状況を具体的に伝えるように心掛けています。
	非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3				意見なし
24		個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				意見なし	引き続き、個人情報の取扱いに十分に留意し、支援を行っていきます。
25		事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3				意見なし	訪問先施設と連携しながら、お子さんが安全に過ごせる取り組みを今後も継続していきます。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				意見なし	お子さんの安全確保のための計画については、訪問先施設の安全管理対策に則って実施する旨を保育所等訪問支援の契約時に具体的に説明いたします。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3				意見なし	保育所等訪問支援では、回ごとの支援のねらいに応じて、お子さんと直接関わる場合と、意図的に距離を取って観察する場合があります。 今後も、お子さんに安心される存在であるように努めます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	3				意見なし	引き続き、保育所等訪問支援を利用されるお子さんと保護者様が満足される支援を目指します。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			年 月 日	
浦安市こども発達センター		利用児童数	3名	回収数	3名	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			<ul style="list-style-type: none"> 効果的な支援方法について、詳しく助言をいただき、自身の指導に取り入れることができた。 専門的な知見からの助言や説明により、担任も自信をもって児童対応に当たることができている。 	<p>今後もお子さんにとっての効果的な支援について、具体的に分かりやすい説明を行い、訪問先の先生方が取り組みやすい支援の提案を行っていきます。</p>	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3			<ul style="list-style-type: none"> 児童のタイプにあったアドバイスをいただくことができた。 担任の見立てと専門的な訪問支援員の見立てにより、様々な視点から児童対応にあたることができています。 	<p>学校場面でのお子さんを把握されている先生方からの情報をもとに、先生方を見立てと訪問支援員の見立てをすり合わせ、より効果的な支援が出来るよう引き続き努力してまいります。</p>	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3			<ul style="list-style-type: none"> 家庭での様子や薬の内容など、学校ではわからないことについて丁寧に教えてもらえた。 必要に応じて来校していただき、成果や課題をフィードバックしていただいている。 	<p>ご質問に対して、分かりやすい回答が出来るよう、引き続き訪問支援員のスキルの向上を図ってまいります。また、口頭での説明だけでなく、書籍や教材等の提示も行い、より具体的な支援の提示に努めます。</p>	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	1		<ul style="list-style-type: none"> 保護者へ学校の様子を伝えて下さったことで、学校からの連絡がスムーズに行えた。学校からは伝えにくい内容も事前に伝えていただき、大変ありがたかった。 児童対応の手立てについてはもちろんのこと、担任の不安解消につながっている。 課題や困りごとについて先生方と支援員との間で共通理解が図れていない。 	<p>本事業が先生方と保護者様との橋渡し役の役割も果たしていることを再認識しました。今後も学校と保護者様との連携がスムーズに行えるよう努めてまいります。今後は、支援を行うごとに課題や困りごとの再確認を行い、支援についての共通理解を図れるよう努めます。</p>	
5 事業所からの支援に満足していますか。	2	1		<ul style="list-style-type: none"> とても満足しているので、できれば継続して行っていただきたい。特にクラスが変わるなど、変化が大きいときにアドバイスがいただけるとありがたい。 学校現場での需要は高まっています。今後とも引き続きお願いをしたいと思います。 事業の依頼者が保護者であることや訪問頻度、事後の状況共有の時間等について目的が共有されず、時間的な難しさもあった。 	<p>引き続き、本事業を通じて、訪問先施設の先生方が、お子さんと安心して関わることが出来るよう努力してまいります。また、保育所等訪問支援事業のご説明を管理職の先生方を含め改めてさせて頂き、事業の目的や内容等を十分ご理解頂いた上で事業を実施していきたくと思います。</p>	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> 児童の家庭での様子を教えていただいたことで「どうして集中できないのか」がわかり、指導に活かすことができた。また、児童の学校での様子を伝えてくださったり、保護者を支えてくださったことが、スムーズな家庭との連携に繋がったと感じている。当該児童が次の学年に進級し、友達関係が変化するときが心配なので、継続して支援していただけるとありがたい。 本校担当には大変お世話になっております。親身になって関わっていただき、的確なご指導ご助言をいただいております。今後とも宜しくお願いいたします。 学期ごとの訪問にしたり、話し合いは伝えたいことを紙ベースで頂いたりするなど方法を工夫していただけるとありがたい。 				<p>浦安市の学校現場の実情を把握し理解した上でなければ、学校の教職員の皆様が受け入れやすいご提案は難しいと考えております。今後も継続して支援を行って欲しいとのご意見を頂き、より一層のスキルの向上を目指し取り組む必要があります。また、事業の実施に当たり、法的根拠や事業概要（目的や頻度等）を訪問先の施設と十分に共有し、担任の変更等関わる職員が変わったタイミングで再度説明をしていくことを徹底していきたくと思っております。また、保護者のニーズだけでなく、お子様や学校のニーズも把握して支援の必要性、支援内容等についても共通理解を図ってまいります。</p>		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		浦安市こども発達センター		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	0	校内で使用されているもので、対象児に適していると思われる教材・教具の提案を実施した。	訪問先の校内にある教材・教具などで対象児に適したものを提案したり、校内に適したものが無い場合は、当センターから持参したり新たに作成するなどして教材・教具等の充実を図っていきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3	・利用希望者に対し、保育所等訪問支援を実施できる職員数が不足しているため、対応できる職員の人材育成が必要。 ・利用希望者は増加していくと考えられるので、対応する職員配置数が増えたと対応できるケースが増えると思われる。	外部研修の受講や内部でのコンサルテーションを設定し、保育所等訪問支援を実施できる職員を増やすことやスキルの向上を目指します。 対応職員の増加に伴い、新たな保育所等訪問支援のニーズに対応していきたいと考えます。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1		業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、すべての職員が参画できているとは言えない現状ですが、より多くの職員が参画していける職場の体制を構築していきます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		令和7年度は内部定例会議の開催頻度が十分には確保出来なかったため、今後は内部の体制を見直し、職員間の意見交換の機会を確保していきます。これにより課題の把握、業務改善内容の共有を図り、迅速な対応に努めます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		現在は第三者による外部評価をおこなっていない為、今後、第三者による外部評価を行うことが課題です。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		令和7年度は外部研修の受講やコンサルテーションなどの内部研修の機会の確保が十分ではなかった為、来年度は外部研修や内部研修等の機会の充実を図っていきます。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	個別担当者も訪問に同行して見立てを共有し、支援方法を検討した。	引き続き、個別担当者などの複数職種による多角的な視点での検討を行い、適切な支援を行っていきます。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	支援計画を作成する前に、担任の意向も聞き取っている	引き続き、訪問先施設の担当者との連携を図り、支援方法の検討や支援計画の作成を行っていきます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0			

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	担当者会議は実施していないが、適宜関係機関と情報共有を行った。	引き続き、関係機関と連携し、情報の共有に努めていきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1		今年度は外部研修やコンサルテーションを受ける機会が少なかった為、来年度は研修等の機会を確保出来るよう努めます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	0	児童発達支援事業者連絡協議会に参加し、他の民間事業所の保育所等訪問支援に従事する職員との意見交換を行い支援に活かした。	児童発達支援事業者連絡協議会などの地域の会議に参加し、他の事業所の保育所等訪問支援に従事する職員との意見や情報交換を行って、今後の支援に活かしていきたいと考えます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	月1回保護者様と話し合いの場を設け、訪問時のこどもの様子を伝えたり、家庭での様子を伺っている。	保育所等訪問支援の保護者面接の機会だけでなく、個別相談時の面接の機会に伺ったお子さんの様子も含めて、保護者様とお子さんについての共通理解を図っていきます。
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	共働き家庭が多く、情報提供しても参加する時間を作るのが難しい様子だった。	当センターでは、ペアレントトレーニング等の保護者向けの講座を開催していますが、共働き家庭など参加が難しい家庭が多いのが現状です。また、オンライン形式の講座も設けているので、その講座へのご案内や、共働き家庭が参加しやすい時間帯の開催の検討を今後も行っています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		保育所等訪問支援では、保護者様やきょうだいなどの交流の機会は設けていません。今後は保護者様同士の交流の場の設定について検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	4		保育所等訪問支援事業のついて定期的な情報発信は行っていません。今後の情報発信については、組織内で検討していきます。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0			

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	訪問支援後は必ず保護者と面談を行い、支援内容等を共有している。	当センターでは、お子さんへの支援を具体的に伝える機会として、対面での面接を大事に考えています。保護者様にはお忙しい中、日程調整を頂きありがとうございます。日程調整が難しい場合は、電話などを使ってタイムリーにお子さんの状態を共有することを今後も目指していきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	当センター全体の業務計画の中に左記の研修が位置づけられていて、毎年訓練を実施していますが、マニュアル等の家族等への周知は実施していません。	今後は、保育所等訪問支援を行っている保護者様にも各マニュアルやその訓練の周知をしていきます。また、必要に応じてマニュアルの見直しを行っていきます。訪問先で緊急事態が発生した場合は訪問先の対応に準じます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		